



撮影・田中秀敏

ベトナムの簿記普及に取り組む元国税庁長官

顔

おおたけ 健一郎さん 61

ベトナムに日本
のような会計帳簿を普及させ
るため奔走している。5月に
民間活動団体(NGO)「ベ
トナム簿記普及推進協議会」
を設立。日本の簿記学校から
ハノイに講師を派遣して教室
を開き、日系企業で働く現地
の人に簿記を教える。

収入と支出だけ記録する家
計簿などと違い、先進国の会
社が使う複式簿記は、財産の
変化やお金の流れがわかり、
会社経営の全体を見渡せる。
10年ほど前、国税庁で税理
士法改正を担当した時、「ヨ
ーロッパで発明された複式簿
記が産業革命を支え、日本の

近代化も成功させた」と気付
いた。「アジアの発展には簿
記が欠かせない」。その思い
が募り、2005年に国税庁
長官を退任した後、普及活動
を本格化させた。

ベトナムを選んだのは「日
本語を話せる人が多い。みん
な手先が器用で勤勉。まるで
明治時代の日本みたい」だか
ら。毎年4回はベトナムに行
き、ベトナムの国税庁長官と
は「義兄弟のちぎりを交わし
た」ほどの入れ込みようだ。
「日本とベトナムの懸け橋と
なり、日本型モデルをアジア
に広げる」夢を追いかける。
(経済部 佐藤千尋)